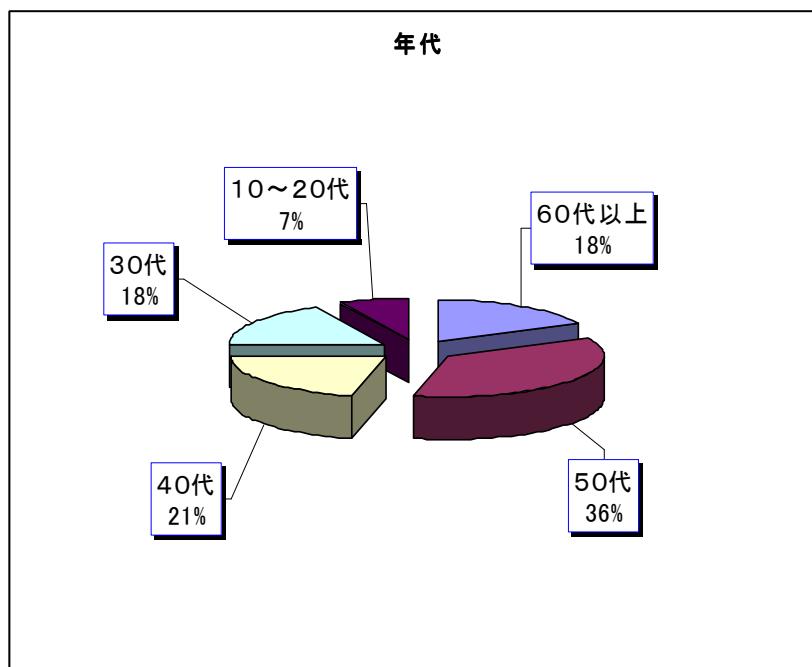
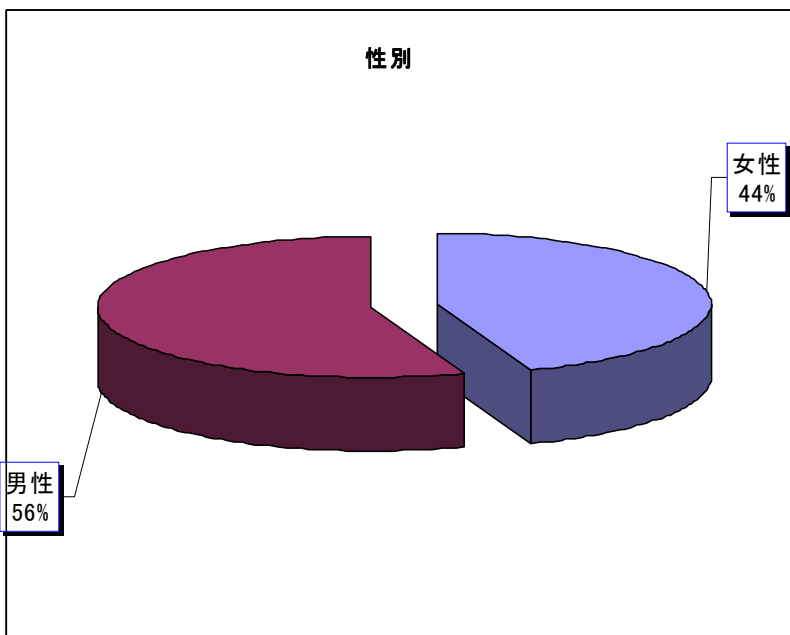


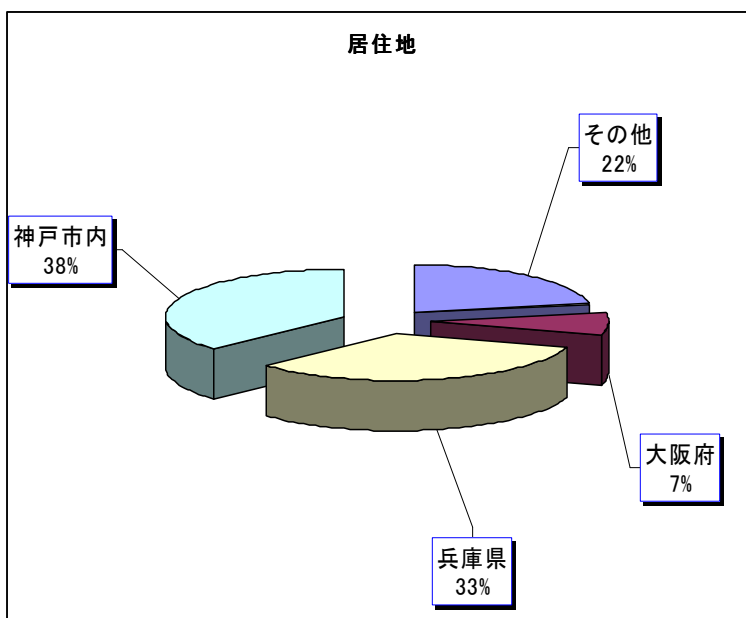
「小貫先生と“菜園家族”構想を学ぶ」参加者アンケート

集計と分析 流通科学大学情報学部 長野和樹、森谷弥生

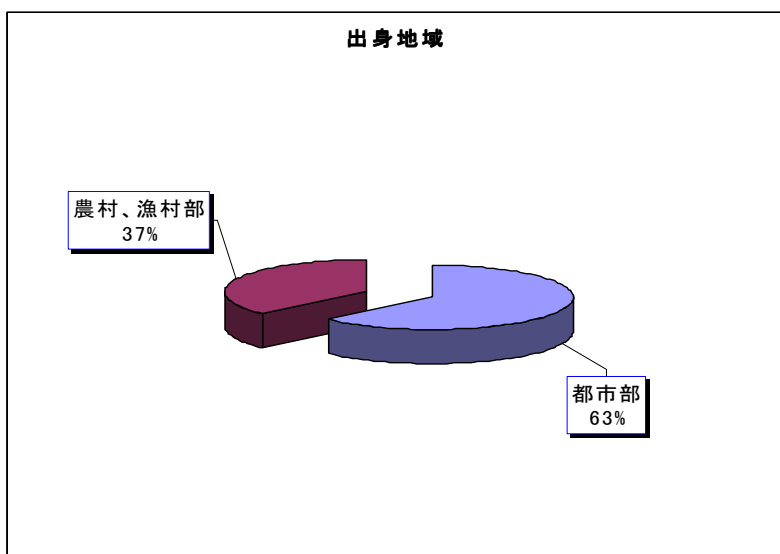
まず今回のアンケートの来客者データを見てみると、観客者数（アンケートの枚数）は29人で、男性が56%、女性が44%とやや男性が多く、年代的には40代が21%、50代が36%とこの二つの年代が約6割を占めていることがわかる。



また、居住地を見てみるとやはり神戸市内からの来客者が 38%と一番多く、次に兵庫県内の 33%、そして意外にも三番目は兵庫・大阪以外の県からの来客者が 22%もあり、一番少なかったのは大阪府の 7% だった。(下記グラフ参照)

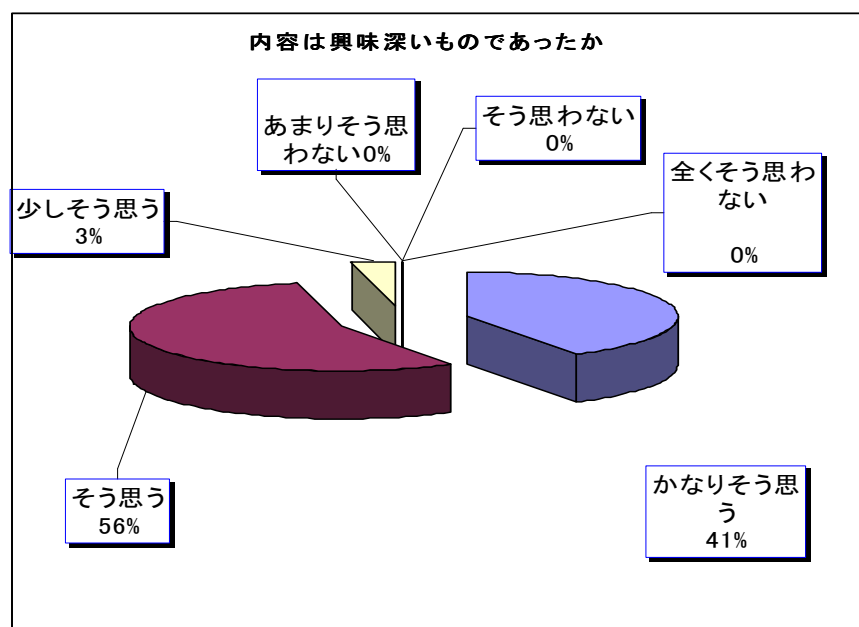


そして来客者データを見て少し意外だったのは、都市部出身の来客者が 63%と半数を多く上回ったことだ(下記グラフ参照)。個人的に農業が都市部より身近にある農村部の方の方が関心が強く、都市部の住民の方が少し関心が薄いのではないかと思っていたが、今回の結果と感想を考慮すると、思った以上に都市部出身の来客者が農業等の普段関わる事の少ない事柄に興味を抱いておられることがわかった。

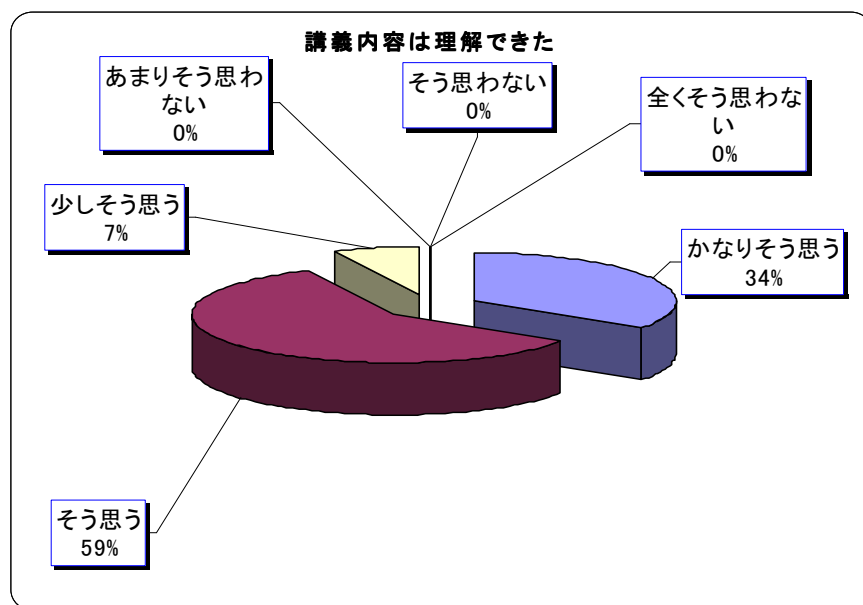


次に今回のイベント部分のデータを見てみると、「(講義) 内容は興味深いものだったか」の問いに、

かなりそう思うが 41%、そう思うが 56%とポジティブな評価のトータルが 97%という驚異的な数値を叩き出したことから、今回のイベントによって農業等へより強い関心を抱いてもらえたのではないだろうか。



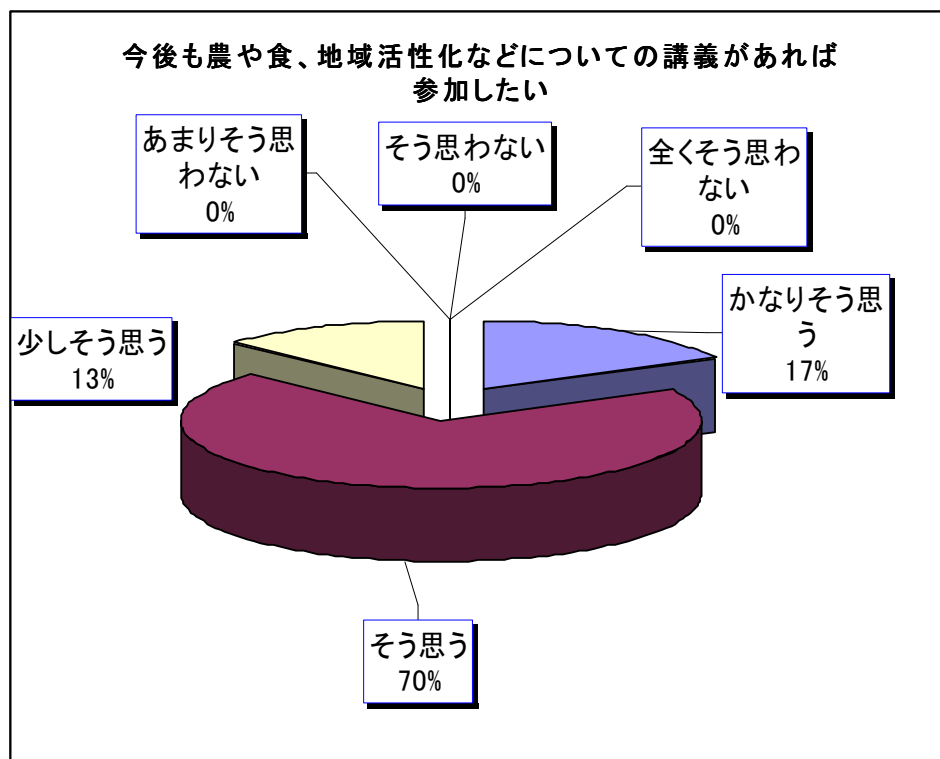
しかし、次の「講義内容は理解できたか？」の問いを見るとわずかに、かなりそう思うの割合が減少し、そう思うと、少しそう思うの割合が増える結果が出た。



とはいっても数字で見ると本当に些細ではあるし、増えたのはいずれもポジティブよりの評価ではあるが、興味の問題と比べてややネガティブな結果になったことから、興味はあるが内容理解についてはまだ少し自信がないという来客者が数人いることではないかと思われる。そして恐らくではあるが、こ

れだけの人数のこれだけの割合がたった一度の講演で「本当に理解した」といえるほど内容が簡単ではなかったということもあると思われる。

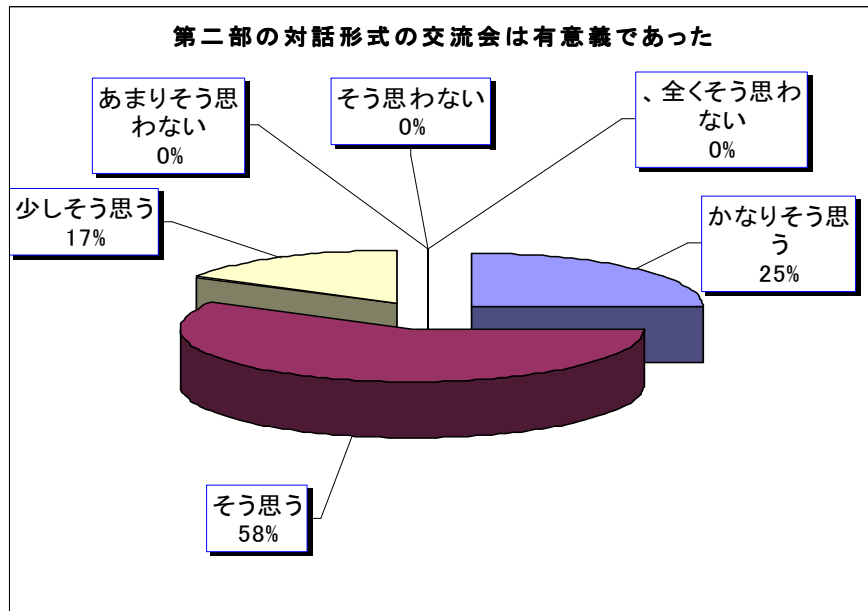
そこで、今後もこのような「農、食、地域活性化などについての講演会があれば参加したいか」の問いを見てみると、かなりそう思うが 17%、そう思うが 70%ともう一度参加したいというリピーター志向の方が9割近く（下記グラフ参照）もいるという結果が出ている。



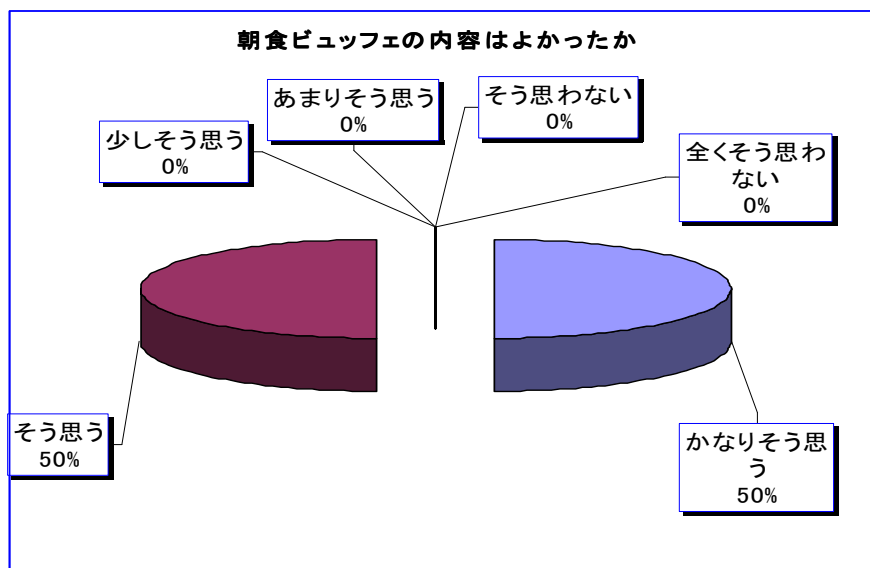
この結果と上記の内容理解のことも踏まえて、できれば今回のような趣旨のイベントの回数を重ね、農と食、地域活性化に対するより深い興味と理解を得る機会を多く提供できればベターかと思われる。

次に、イベントの第二部に関するデータ（第二部に関するアンケート回答数は 12 人）「第二部の対話形式の交流会は有意義であったか」の問いを見てみると、かなりそう思うが 25%、そう思うが 58%と 8 割以上の来客者が非常にポジティブな評価をしているという結果がでた。

元々希望者のみの交流会なので、ある程度のポジティブな評価が出ることはわかっていたが、それを踏まえても 8 割以上という数値は来客者の方々に高い満足度を得てもらえたということを十分に示しているといえる。

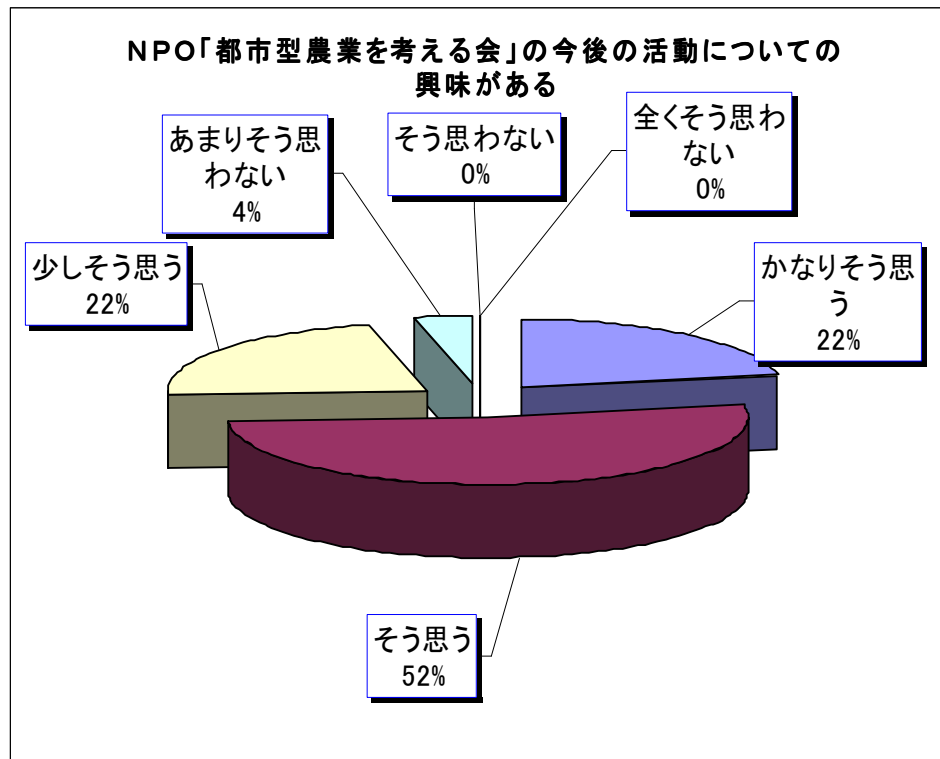


また、「夕食ビュッフェの内容はよかったか」の問いではかなりそう思うが 50%、そう思うが 50%とポジティブな評価が 100%と非の打ち所のない結果がでているので、今回の第二部のような形式は今後も恒例化して定着させるのがよいと思われる。



次にNPOに関するデータを見てみると、「NPO（都市型農業を考える会）の今後の活動について興味がある」の問いにかなりそう思うが 22%、そう思うが 52%と、ポジティブな評価がトータル 74%あり、来客者はかなり高い興味を抱いているといえる結果がでた。

しかし、来客者の中に活動内容が今ひとつわからないという理由で、少しそう思う、を選んでいたので、もう少し説明時間を増やしたり、何かわかりやすい活動内容の例を挙げれば更なる理解が得られるのではないかと思う。

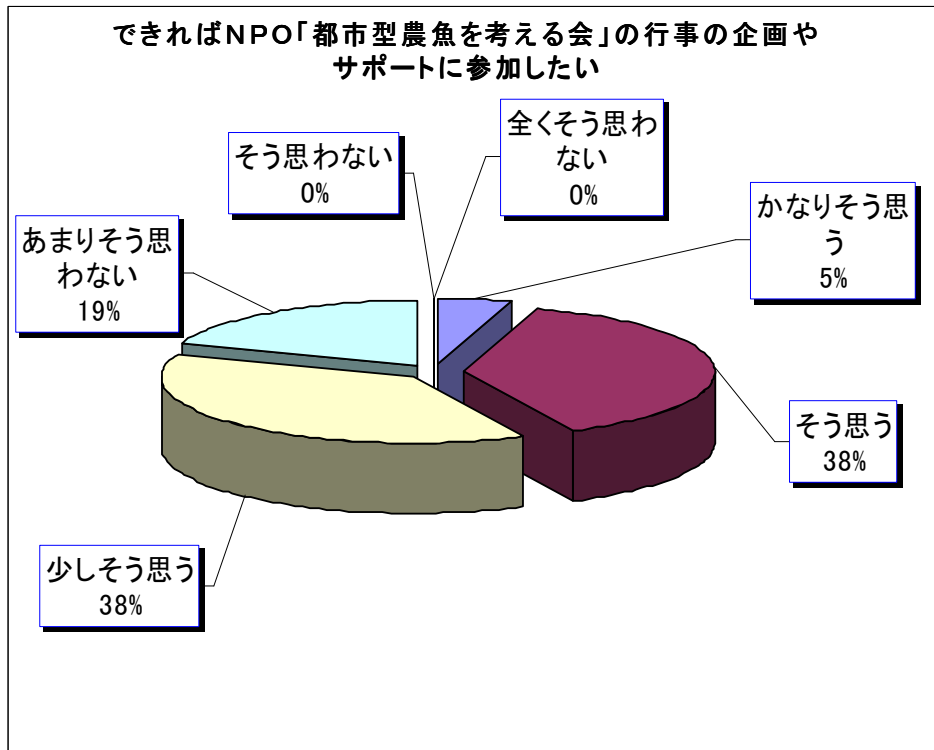
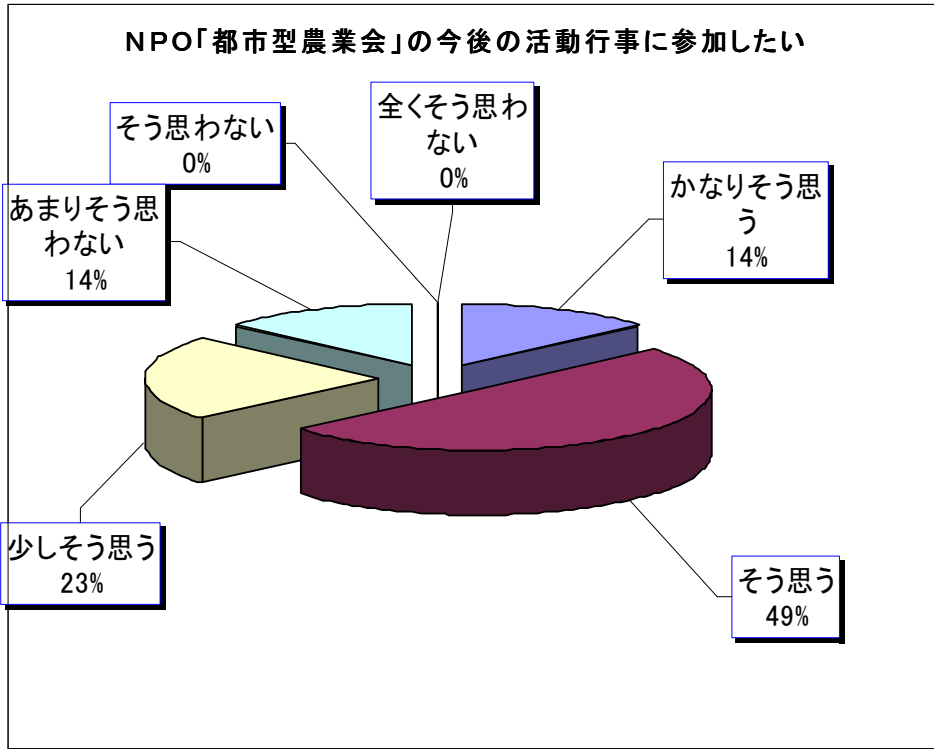


そして、次の「NPO（都市型農業を考える会）今後の活動に参加したいか」の問いを見てみるとかなりそう思うが 14%、そう思うが 49%と、上の興味はあるかの問いと比べると若干低下はしたものの、依然ポジティブな評価が6割強（下記グラフ参照）もあり、このNPOの活動に参加しようという積極的な人間は多くいるという結果が出た。

しかし、次の「NPO（都市型農業を考える会）の行事や企画やサポートに参加したいか」という問いを見てみると、かなりそう思うが 5%、そう思うが 38%とポジティブな評価のトータルが 43%（下記グラフ参照）というように、上の二つの問いと比べると大幅に低い結果がでた。

とはいっても、仕事が忙しい・自宅が遠いなどの障害があるであろうし、イベントに参加する気軽さとは違い、サポートや企画なると若干重いイメージがあるのでこの減少は当たり前といえば当たり前であろう。むしろこれだけの割合の来客者の方がサポートや企画に参加してもよいと思っておられるのはかなりの高評価であると思われる。

今後何かのイベント毎にNPOをPRし、上記のように説明時間を少し長めにとったり、活動内容・企画やサポート内容（具体的にどのようなことをすれば良いのか）をもっと明瞭化したりすることができればポジティブな評価は更に増えるのではないだろうか。



なお、次回への要望をまとめると、青森県の木村アキノリさん（無農薬でりんごを作っているひと）の講演、長谷川先生の話が聞いてみたい、現場を見てみたい、市民農園の取り組みについてなどがあつた。また、感想としては家族、環境、農業について新たな発見があつたというようなものが多かつた。

まとめ

今回のアンケートではどの問いでも評価は比較的ポジティブで、感想もびっしり書いて下さっている来客者の方も多くいらしたので、今回のイベントは各々何かしら得るものがある満足度の高い有意義な時間になったのではないかと思われる。また、NPOへの関心もかなり強く、半数近くがサポート、企画に参加するという評価をしておられることから、ホームページ上に詳しい活動内容や活動の理念等を載せたり、パンフレットを配布したりするなど、もっと広くPRしていけばさらに幅広い支持を得られるのではないだろうか。

一部、ことばの表現について理事の東淳一が修正を行いました。